

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
施策	②教育機会の確保及び文化の振興			
(施策の小項目)	○離島における文化振興及び後継者育成			
主な取組	伝統芸能公演への支援	実施計画 記載頁	323	
対応する 主な課題	○離島・過疎地域の文化振興については、人口の減少に伴い祭事の簡素化や伝統芸能の後継者不足などが課題となっている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	県民及び来県者に伝統芸能の鑑賞機会提供と若手実演家の育成を図るため、若手実演家等の公演及び国の重要無形文化財保持者の公演を実施する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	1回 公演回数				→	→	県 文化振興 会
	離島における伝統芸能公演の開催						
担当部課	文化観光スポーツ部 文化振興課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成27年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄県文化振興事業等推進費	44,100	44,100	国の重要無形文化財保持者等の公演を多良間村及び伊平屋村にて実施した。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
離島における伝統芸能公演回数			2回	2回
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成27年度取組の効果			
順調	重要無形文化財保持者等公演を多良間島及び伊平屋村において実施することにより離島住民518人に伝統芸能の鑑賞機会の提供が図られた。若い世代向けに伝統芸能に触れる機会を創出し、伝統文化に関心を高めることができたほか、高齢の方には地域コミュニティへの参加を促すことができた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成28年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄県文化振興事業等推進費	45,410	(公財)沖縄県文化振興会の行う事業に対し補助金を交付し、その活動を支援するなどして、文化・芸術の振興に加えて観光との連携を図り、県民の主体的、創造的な文化活動を支援する。	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成27年度の取組改善案	反映状況
①平成26年度実施した結果を分析し、プログラム等の改良も検討しながら事業に早期着手することで、実演家の稽古期間を十分に確保する。	①昨年度と同時期の着手ではあったが、受託団体が2年目であったため、稽古の状況については改善されたと感じる。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
伝統芸能公演1回における平均来場者数	170人 (25年度)	200人 (26年度)	259人 (27年度)	↑	(〇〇年)
状況説明	平成27年度は多良間村及び伊平屋村公演を開催し、平均来場者数は、前年度より増となった。また、ワークショップの開催や、重要無形文化財保持者等による伝統芸能公演を実施したことにより、離島・過疎地域住民へ伝統文化を体験、鑑賞する機会を提供できた。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p><u>○内部要因</u></p> <p>・公演については多くの来場者があり盛況であったが、ワークショップについては、直前に開催場所が変更になる等、調整がうまくいかなかった点が見られた。</p>
<p><u>○外部環境の変化</u></p> <p>・離島における文化振興及び後継者育成</p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>・公演前のワークショップを開催場所・方法を検討するなどして、演目の内容や言葉の説明、動きなどを解説し、観る側の興味を持たせる仕組みを構築する。</p>
--

4 取組の改善案(Action)

<p>・平成27年度実施した結果を分析し、プログラム等の改良、公演前のワークショップの開催場所・方法を検討するなどして、演目の内容や言葉の説明、動きなどを解説し、観る側の興味を持たせる仕組みを構築する。</p>
